千葉さん 道社会貢献賞

サービス充実 さらに努力

特定医療法人社団千寿会が運営する介護老人保健施設グリーンコート三愛の千葉泰二施設長(53)＝千寿会理事長＝が、2013年度（平成25年度）北海道社会貢献賞（介護老人保健施設事業功労者）を受賞した。千葉氏は「今後も他の模範となる施設づくりを進めたい」と話している。

（鞠子理人）

介護老人保健施設事業功労

登別でも高齢化が進む中、同施設は道内でも老健施設がまだ少なかった1994年、中登別町の三愛病院横に開設された。道内では36番目の開設だった。

「医療から高齢福祉も含めたトータルケア」を方針とする千寿会は現在、認知症グループホームや訪問介護事業などを展開するが、同施設は法人としても介護分野の先駆けであり、重要な意味を持った。

施設では「明るく家庭的な雰囲気の中」、利用者本位の医療ケアと日常生活サービスを展開するが、千葉氏は当初からトップとしてかじ取りに当たり、登別地域の高齢者介護の充実に努めてきた。

現在では西胆振の8施設が加盟する西胆振老人保健施設ネットワークの会長としても施設連携や老健の質向上に尽力。07年からは道老人保健施設協議会の理事・幹事という重責も担う。

表彰式は11月8日、札幌市内で開かれた第21回北海道老人保健施設大会の席上行われ、千葉氏自ら参加、表彰状を受け取った。

千葉氏は「今後は職員教育にも一層力を入れることで、外部の研修も受け入れることができる施設に育てていきたい」と、さらなるサービス充実への努力を誓っている。